

地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより



秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター・がん相談支援センター 発行

第51号

当センターに遺伝看護専門看護師が配置されました！

今年度より当センターのがん・遺伝相談部門に遺伝看護専門看護師が配置されました。

今号では、遺伝看護専門看護師とその活動についてご紹介いたします。



2020年4月より東京の病院より秋田大学医学部附属病院にきました、遺伝看護専門看護師の納富理絵と申します。



遺伝看護専門看護師 納富 理絵

遺伝看護とは

遺伝に関連した健康への影響に焦点をあてて看護をします。遺伝看護は患者さんだけでなく、その家族も含め、クライアントが遺伝性疾患になったときだけではなく、健康な状態も含めたすべての健康レベルを対象とします。また、家系内で起こる病気について将来的な相談(子どもの発病、身内の結婚など)にも対応するなど、誕生から終末期まで生涯を通して関わります。

遺伝看護専門看護師とは

遺伝看護専門看護師は日本看護協会が認定する高度実践看護師の一つで、認定されている遺伝看護専門看護師は全国で6名です(2020年10月現在)。

遺伝看護専門看護師は、患者・家族に起きている遺伝学的問題を総合的に捉えて判断する力と広い視野を持って、遺伝看護分野の専門性を発揮しながら専門看護師の6つの役割「実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究」を果たし、施設全体や地域の看護の質の向上に努めます。

～例えばこのような看護活動をします～

- 複雑で対応が困難な遺伝的課題を抱える患者・家族の、病気とその背後にある不安や葛藤等の様々な要因を総合的に捉え、どのような看護が必要か判断して実践します。
- 遺伝学的課題を抱える患者・家族によりよい看護を行うにはどのような関わりが必要か等、看護師や他の医療職の相談に乗り、専門知識を活かして問題の解決を図ります。
- 遺伝子検査や治療方針の決定など倫理的問題が生じやすい場面に関わり、患者・家族の思いを尊重して治療や療養を行えるよう、他の看護師や医師等、関係する方々と協働します。
- 専門知識に基いた看護師教育を行い、施設全体や地域の看護の質の向上に努めます。
- 日々の遺伝看護における課題を研究対象として捉え探求します。研究成果を実践に還元することで、看護の質の向上に貢献します。

遺伝看護専門看護師は、いまの医学では治らない疾患を持ちながらも、その人が持つ「健康」を最大限に引き出すための手助けをし、その方にとって最良な生活をともに考え、関わり続けるという看護の独自性を活かした関わり方をしていきます。こうした独自性は遺伝性疾患とともに生きる患者の療養を支え、患者だけでなく血縁者を含めた家族を看る、という役割を担うことができます。

ゲノム医療時代になって新しいテクノロジーが次々と誕生し、その一部は臨床で患者の診断・治療・予防に実用されています。私たち遺伝看護専門看護師は、すべての人が安心してゲノム医療を受けられる社会のために、看護において変えるべき事柄については変える努力と、大事にすべき事柄についてはそれを守りぬく力が求められています。

急激に進むゲノム医療時代において多様なニーズが求められているからこそ、精進を重ねて、今後活動の場を広げていきたいと考えております。



入院前支援の介入状況(2020年4月～9月)

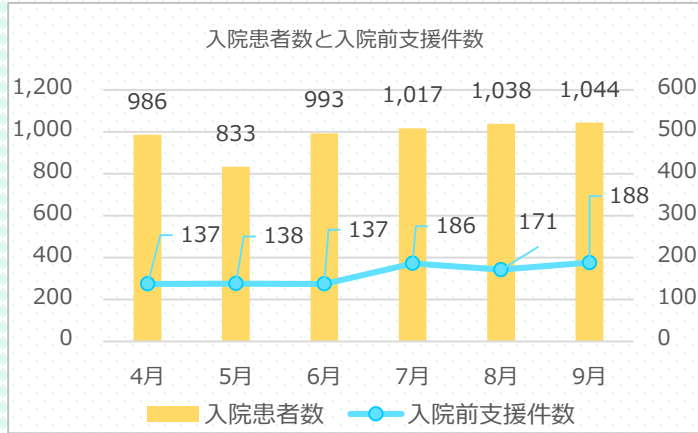
【診療科】 15診療科

消化器内科、神経内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、リウマチ科、消化器外科、食道外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科
 ※今後、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、歯科口腔外科、放射線科等の介入を予定している



【支援件数】 957件/6ヶ月

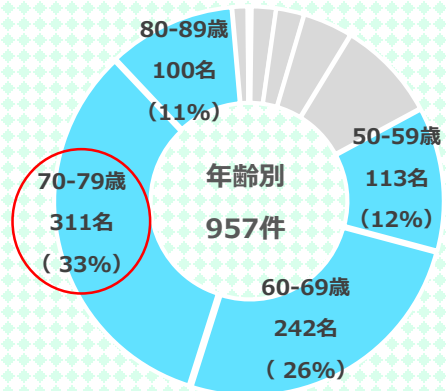
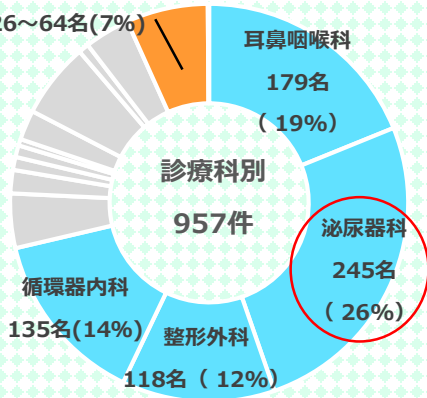
診療科の拡大に伴い、介入件数が増加している
 * 泌尿器科26%、耳鼻咽喉科19%、循環器内科14%、整形外科12%の割合で依頼件数が多い



【患者背景】 性別：男性が67%、女性が23%
 年齢：50～89歳で全体の82%を占めている

皮膚科・形成外科

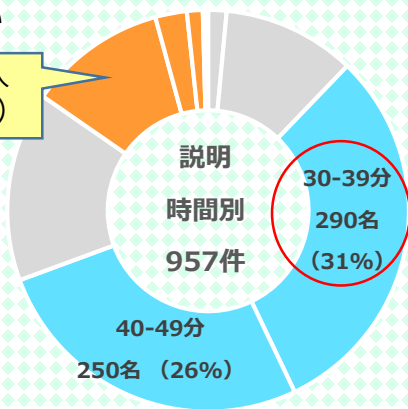
7/26～64名(7%)



【介入時間】

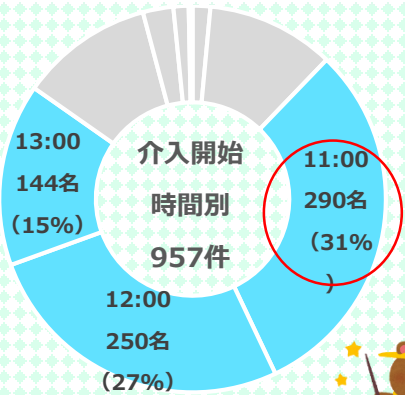
30～39分が31%、40～49分が26%、60分以上が16%
 一人で来院の方、治療方針が未定の方、不安が強い方の介入時間が長い

60分以上介入
147名(16%)



【介入開始時間帯】

11:00～13:00台が73%を占めている



【対応場所】 当該診療科以外の外来診察室で行う割合が56%である

【入院日決定】 約50%は決定しているが、あとは入院日未定である
 入院日未定の診療科は泌尿器科、耳鼻咽喉科、消化器外科が多い

新しいスタッフのご紹介

MSW 萩山美沙さん

7月より入職しました萩山です。
 主に各種制度説明や退院支援で関わらせていただきます。患者さんやご家族の思いに寄り添い、安心して療養生活を送ることが出来るように支援していきたいと思っております。
 よろしくお願ひいたします。



事務スタッフ 伊藤まどかさん

7月より事務スタッフとして入職しました伊藤と申します。
 皆様のお役に立てますよう、丁寧な仕事を心掛けます。
 よろしくお願ひいたします。

